



センターWebページへ

トップ

研修講座の概要

研究発表会レポート

ライブラリ・お役立ち情報

#### ハイライト:

「平成20年度センター研修」  
を特集します。

当センターでは、児童生徒一人一人が夢に向かって主体的に取り組むよう学習活動を充実させるべく、効果的な研修の実現に向けての取組を進めて参ります。

#### 目次:

平成20年度 教職員研修講座の概要	2
講座紹介・受講者の声	2
センター研究発表会レポート	3
お知らせ	3
研修用パソコン更新の お知らせ	4
お役立ち情報	4

# 青森県総合学校教育センター

## センターだより

### 巻頭言

## 「平成20年度 センター研修の展望」



副参事・義務教育課長  
種市 裕章

青森県総合学校教育センターにおける平成19年度の研修講座も、皆様のご協力により、予定していた全講座を無事終了することができました。

さて、昨年は教育基本法の改正を踏まえた教育三法の成立や43年ぶりとなる全国学力・学習状況調査の実施など、我が国の教育にとって大きな転換の年でもありました。今年も、中央教育審議会の答申を受け、年明け2月には文部科学省から幼稚園教育要領案と小・中学校学習指導要領案が示され、新しい教育課程の具体化に向けた本格的な教育改革への取組がスタートすることになりました。

このような現状を踏まえ、青森県総合学校教育センターでは、「学校教育指導の方針と重点」（青森県教育委員会）や「青森県教職員研修体系」等に基づき、研修講座を受講した教職員のみなさんが「児童生徒一人一人が夢に向かって主体的に取り組むよう学習活動を充実させる」こと、「社会の変化に伴い学校教育に求められている課題を解決できる」ことを目標に、平成20年度の研修講座（203講座）を次のように編成しました。

基本研修	57講座	(1)初任者研修	(2)新規採用者研修	(3)経験者研修
職務研修	17講座	(1)職務研修Ⅰ	(2)職務研修Ⅱ	
専門研修	124講座	(1)教科研修	(2)教科外研修	
特別研修	5講座	(1)長期研修		

センターとしては、これらの研修講座の研修内容、研修期間、講師、研修方法等について常に見直しを図り、効果的な研修の実現に向けての取組を進めて参ります。

また、教職員のみなさんの聴講可能な講座として41講座を設定し、その中の15講座は教職員以外の方にも公開を予定しておりますので、これまで以上の積極的な参加をお待ちしております。

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

## 平成20年度教職員研修講座の概要

トップ

研修講座の概要

研究発表会レポート

ライブラリ・お役立ち情報

## 【基本方針】

- 1 基礎・基本を大切にします。
- 2 社会の変化に対応する。
- 3 体験的な活動を積極的に取り入れる。
- 4 学校の教育課題の解決を援助する。
- 5 特色ある教育、特色ある学校づくりを支援する。

## 【重点】

- 1 学習指導要領の趣旨・内容を重視する。
- 2 「学校教育の情報化」に対応した内容を積極的に取り入れる。
- 3 学校が直面している教育課題に適切に応える。
- 4 「指導と評価の一体化」についての内容を積極的に取り入れる。
- 5 「個に応じた指導」「特別の支援を必要とする子どもの教育」についての内容を積極的に取り入れる。

平成20年度講座数  
203講座

※詳細は、各校に配付される一覧表及びWebページ(3/24アップ予定)をご覧ください。

## 特色ある講座

## ◆111 教頭のための学校経営講座

「教育活動中の事故と関係法令」の講義、「コーチング」の演習、教職員の精神疾患の予防に関する講義という構成で研修します。

## ◆273 中・高等学校理科野外講座〔生物〕

東北大学大学院生命科学研究所附属浅虫海洋生物学研究センターにおける夕方から夜にかけての調査・観察や、昼と夜の生物相の比較などを研修します。

## ◆517 こどもの育ちを支える教育研修講座

幼児期から児童期の育ちや発達、その対応について幼小のギャップをなだらかな移行で埋める取組を学ぶため幼稚園、保育園、小学校の先生方が一緒に研修します。

## ◆703 教材・教具活用講座

香川大学教授 武蔵博文氏を迎え、「生活支援ツール」の作成や活用の実際について講義をしていただき、子どもが主体的に生活していくための支援の方法について研修します。

## ◆812 プレゼンテーション活用講座

プレゼンテーションソフトの教室での活用法や、プロジェクタ等の操作技術により重点を置いて、ICTを活用する方法を研修します。

## ◆813 ソフトウェアの連係・活用講座

ワープロ、表計算、プレゼンテーション等、さまざまなソフトウェアで作成したデータを、別なソフトウェアと連係させて活用する方法を研修します。

## 聴講可能な講座

聴講可能な講座は、41講座です。どの講座もスペシャリストの講師陣を迎えております。自己の資質向上のため、ぜひ聴講してはいかがでしょうか。また、教職員以外の方が聴講可能な講座は、15講座です。

## 講座紹介・受講者の声

これまでに開催された講座の様子を受講者の声を交えて担当者が紹介します。

## 「903 特別支援教育長期講座」

この講座は、小・中学校、特別支援学校の先生方を対象として、年間20日間当センターに通って各自の課題に沿って研究を進めることになっています。内容としては、「研究主題と内容の検討」、「実態の整理」、「指導内容・方法の検討」、「指導経過の確認と検討」、「研究報告の作成」等の順に進められ、1年間にわたる研究の成果は、毎年1月上旬に行われる「センター研究発表会」で発表し、長期講座報告としてまとめることになっています。

日々の仕事に追われて、なかなか研究に取り組みないでいる先生方にとっては、それぞれのニーズに合わせて研究に指導主事と一緒に取り組むことのできる絶好の機会です。なお、この講座は指定の2教育事務所から推薦された小・中学校教員と特別支援学校の教員が対象となっています。今後も多くの先生方が、進んで受講希望されることを願っています。

## ◆受講者の声

- ・その時点で何に集中したらよいかははっきりしていたので、研修が充実していた。
- ・この研修で学んだことを基に、職場での研究や日頃の話し合いで、自分の思いを伝えていきたい。
- ・理論と実践を結びつけることが、これほど難しいとは思わなかった。自分の普段の指導がいかに甘かったか、反省している。
- ・この研修で、コーディネーターとしてやるべきことも見えてきた。多くの書籍や教材教具を紹介してもらい感謝している。

「講座番号 904情報教育長期研究講座」

この講座は、高校の先生方を対象として学校における情報教育推進の中核となる教員を養成するため、コンピュータの運用管理について研修し、実践的な指導力の向上を図ることを目的としています。

研究テーマについてはOSやデータベース、ネットワークシステム、教材開発といった内容から自分で設定できます。受講日は、夏季・冬季休業の期間を中心に受講者が計画し、年間で断続50日間となっています。

今年度の受講者、三沢商業高校の伊藤先生は、新しい「校務支援システムの開発」という課題を持ち、その解決に向けて1年間研究に励んでいました。その結果、新しい成績処理システムを完成させ、新年度には学校において実際に稼働する予定だそうです。

長期研究講座は教科教育におけるコンピュータ利用技術のための「コンピュータ利用技術研究講座」、25日間の講座もありますのでぜひ受講していただきたいと思ひます。

◆受講者の声

本校では、校務を支援する情報処理システムが稼働しています。データベースソフトを利用し、以前勤務していた先生が作成したのですが、最新のコンピュータ環境下ではシステム的に対応できない部分ができました。

そこで、長期研究講座を受講し、データベースの概念を身に付け、現システムに変わる新しい校務支援システムの開発を目指して研究を行なうことにしました。自己のスキルアップのためと、仕事に役立つものを作成したいと思い取り組みました。データベースは挑戦したことのない分野でしたが、研究を重ねるうち、その概念をつかむことができ、表計算ソフトとの連携もできるようになりました。

50日の研究期間では、成績を処理する部分しか手掛けられませんでした。これをベースとして、調査書出力まで行うことのできる総合校務支援情報処理システムの開発を目指して、今後も努力を続けたいと思っています。

センター研究発表会レポート

平成20年1月10日(木)・11日(金)、「平成19年度青森県総合学校教育センター研究発表会」が当センターを会場に開催されました。この発表会は当センターにおける研究成果を、教育関係者はもとより、広く一般の方も対象として発表し、今日的な教育課題解決のための手がかりとし、本県の教育の向上に役立てるという趣旨で行われています。

あいにくの天候にもかかわらず、今年度は一般参加者が138名と昨年度より50名以上増えるとともに、10年経験者研修者213名と、長期研修受講者30名を合わせると、2日間で県内外から、延べ833名の参加者があり、センター研究発表会に対する関心の高さがうかがわれました。

1日目は明治大学教授 諸富祥彦氏の「教育の今日的課題～いじめ・不登校・学力問題・保護者からのクレーム～」と題した講演から始まりました。日本のカウンセリング界で著名な先生は、豊富な事例と会場を巻き込んだユーモアたっぷりの話術で、教育の今日的課題解決のためのポイントをお話してくださいました。参加者からは「内容が具体的でわかりやすい。現場ですぐ活用したい。」との感想が多数寄せられ、大好評でした。

午後から2日目にかけては、指導主事、研究員、長期講座受講者、計44名による発表がありました。発表者は教科教育、特別支援教育、情報教育、教育相談の分野に分かれて、研究の成果を発表しました。どの発表も、今日的な教育課題を研究テーマにしているため、充実した内容となり、参加者は真剣に聞き入っていました。

新学期前のお忙しい時期、しかも、あいにくの天候の中、おいでいただいた参加者の皆様、本当にありがとうございました。当センターは、来年度も平成21年1月8日(木)～9日(金)に研究発表会を予定しています。多数の参加をお待ちしています。

お知らせ

～平成20年度研修講座案内 Webで公開します～

平成20年度研修講座案内を当センターWebページから次のように公開します。

- ◆ 公開日 平成20年3月24日(月)
- ◆ URL <http://www.edu-c.pref.aomori.jp/>

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

- トップ
- 研修講座の概要
- 研究発表会レポート
- ライブラリ・お役立ち情報



センター研究発表会(全体会)

平成20年度Web研修講座案内



<http://www.edu-c.pref.aomori.jp/>

今回の機器更新では、情報教育系研修室6教室中5教室のコンピュータを一新し、OSはWindows Vista、アプリケーションソフトウェアはすべての研修室でOffice系をはじめpdf作成、Webコンテンツ作成など学校現場で用途の高いものを中心に導入いたしました。特に、CAD・CG研修室においては最新のマルチメディア処理ができる環境も整備されました。

コンピュータ機器以外にも、大研修室、2階研修室のプロジェクタを更新し、従来に比べ明るい画像でご覧いただけます。また、電子黒板や大型プラズマディスプレイを多く導入し、教室内で「授業の情報化」をより一層効果的に行うための研修も可能となりました。宿泊棟においては一部の部屋で無線LANをサポートし、宿泊される先生方にも個人のノートパソコンでメールやインターネットが使えるよう配慮いたしました。

「教育の情報化」が叫ばれている現在、これら情報機器は学校では欠くことができないものとなっており、研修講座において積極的に活用することを考えております。今後、情報機器の導入・授業での活用等を検討している方は是非センターの研修を受講してください。



CAD・CG研修室



情報教育研修室 1

## お役立ち情報

最近、「〇〇力」という言葉をよく目にします。そこで今回は、今年度第3次及び第4次購入分の新着図書の中から、「〇〇力」をキーワードにピックアップしてご紹介いたします。今年度ライブラリは、2月までの集計で、延べ1395名の方にご利用いただきました。これからも最新の教育関係図書や資料の収集・提供に努めてまいりますので、研修や会議等で来所の際はぜひご活用ください。

書名	編著者	発行・出版社
未来への学力と日本の教育	久富善之 田中孝彦 ほか	明石書店
中学校・高等学校PISA型「読解力」-考え方と実践-	西辻正副 富山哲也	明治書院
社会科の基礎・基本 地図の学力	寺本 潔	明治図書出版
算数の力-数学的な考え方を乗り越えて	長崎栄三 滝井 章	東洋館出版社
理科でどんな「力」が育つか	日置光久 矢野英明	東洋館出版社
もっともっと運動能力がつく魔法の方法	東根明人 宮下桂治	主婦と生活社
「7つの力」を育てるキャリア教育	諸富祥彦	図書文化社
「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育	文部科学省	日本体育・学校健康センター
自閉っ子におけるモンダイな想像力	ニキ・リンコ	花風社
「先生ってなにをする人？」 -考える力とやさしさが育ったW学級の6年間	守屋慶子 高橋通子	金子書房

## 編集後記

先日秋葉原で、久しぶりにジャンクショップ巡りをしました。遺産に登録されそうな旧型のパソコンにお目にかかることができ、当時を思い出し懐かしさを感じました。当センターの各情報研修室のパソコンも更新され、秋葉原でお目にかかった遺産のようなパソコンと比較してみると、パソコンの機能の多様化には目を見張るものがあります。

今やパソコンには基本ソフトが入り、インターネット上には多くの利用できるコンテンツや情報があります。「パソコンもソフトがなければ、じやまな箱」は過去のことです。教育の情報化に対応して、これからも学校にはパソコンが整備されていきます。これをうまく教育手段として活用する力が求められています。「パソコンも使わなければ、じやまな箱」にしないために、当センターのICT活用に関連する研修講座をぜひ受講していただければと思います。  
(広報委員会 奈良 潔)

夢はぐくむ教育を推進するために「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」

トップ

研修講座の概要

研究発表会レポート

ライブラリ・お役立ち情報



3Dスキャナー  
立体物をスキャンする装置です



60型プラズマ電子黒板